

BMC 海外インターンシップ実施報告書

研究テーマ； ラマン光学活性測定装置の作製技術の習得

氏名； 山本 茂樹

学年； D3

所属； 理学研究科化学専攻分析化学研究室

派遣場所； フリブール大学, スイス

派遣期間； 2008/03/07 ~18

実施内容と感想； 派遣先研究室の教授 Hug に、ラマン光学活性測定装置を作製するためのノウハウと知識を教わった。実際にラマン光学活性の測定を行うことで、分光器内の部品の作動原理、セルへの試料導入、部品の配置方法などの実験の実際的なことを知ることができた。さらに、私の作製している装置について Hug と討論を行うことで、装置の改善点が洗い出された。また、ラマン光学活性スペクトルの解析を容易に行うプログラムを紹介して頂いた。

Hug は私に様々な装置を見せながら、彼の長年のラマン分光についての研究を語ってくれた。その歴史を知ることによってラマン光学活性測定装置のみならず、ラマン分光装置の発展の歴史を知ることができ、非常に興味深かった。最初期の手作りの分光用 CCD やコンケイブ回折格子などには驚くばかりだった。今回研究室を訪問し、実際に装置に触れられたことで、メールによる情報交換だけでは理解できない実際的な知識を得ることができた。これは非常に有意義なことだった。